

令和5年度第1回学校運営協議会

1 期 日 令和5年5月30日（火）10:00～11:00

2 場 所 清水小学校 会議室

3 出席者 ※別添 出席委員名簿参照

4 会順及び協議題

- (1) 開会のことば
- (2) 委嘱状交付
- (3) 学校長あいさつ（令和5年度の学校経営方針説明含む）
- (4) 自己紹介
- (5) 協議
 - ア 協議会についての説明
 - イ 会長，副会長選出
 - ウ 意見交換，質疑応答等
 - エ その他
- (6) 閉会のことば

5 協議の内容や意見等

- ・ 学校評議員とは異なる取組となる。無理をせず，できることから少しずつ取り組みたい。
- ・ 教育の専門的なことは分からないことが多いので，理解を深めながら学校・地域が盛り上がる取組を進めていきたい。
- ・ いつも校長・教頭の話ばかりでなく，先生方とお話しする機会が欲しい。
- ・ 子どもたちの声（やってみたいこと，地域に望むことなど）を聞かせてほしい。
- ・ スポーツ少年団は，人を育てる活動である。保護者の教育に対する認識を高められるような学びの機会が必要である。
- ・ 「学校評価」について依頼があるが，学校の詳細を知らない者でも評価ができるような評価項目にしていきたい。 → 次回の学校運営協議会で協議する。
- ・ 不登校の要因やいじめの内容を知りたい。 → 次回の協議会で報告する。
- ・ この会の守秘義務は，どの程度までなのか，明らかにしてほしい。 → 個人情報・特定に関わることであり，毎回，会議の中で確認する。協議内容は，守秘に当たらない。
- ・ （ご自身のご家族の勤務する他校の例として）教職員間の人間関係，協力体制に問題があると聞いた。同じ学校で勤務する職員間のコミュニケーションが大切である。
- ・ 交流の場が少なくなったコロナ禍の弊害として，子どもや親の学校に対する見方・考え方は，よりシビアになったと感じる。日頃から先生方と保護者の信頼関係を構築する必要がある。
- ・ 世の中の変化に合わせて，地域も親も考え方を変えていく必要がある。学校が閉ざされた社会にならないよう，何でも言い合える自由な雰囲気づくりを大切にしたい。
- ・ P T Aや家庭教育学級など，これまでの形にこだわらない保護者がつながる組織づくりが必要である。

- 子育ての時期は一瞬である。親子が語り合ったり一緒に活動したりすることをおして、思い出をつくる活動に取り組みたい。
- 鹿児島市は、これまであいご会活動により、地域・校区の教育力の充実に努めてきた。学校は、あいご会に対して、どのようなお考えをお持ちなのか。 → 次回の協議題とする。